

地域包括支援センターだより



「ええげえし」＝「相返し」秩父地域の方言で「助け合う・支え合う」ことを意味します。

第31号（年3回発行）

R2. 3. 1発行

《編集発行》

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字大淵103-1

長生荘内

電話 63-1122

題字：皆野小4年 請川 雪羽 さん

認知症ケア(もの忘れ)相談室を開設しました。

地域包括支援センター（福祉介護よろず相談室）内に、**認知症ケア(もの忘れ)相談室**を開設しました。①介護方法・技術のアドバイス、②医療機関受診に関する相談、③サービスに関する情報提供を実施します。相談は、電話・メール・手紙・来所・訪問にてお受けします。介護福祉士2名（兼務）が、本人・家族・近所・友人・匿名（その旨を申し出ください。）など多くの方の相談を柔軟に、かつ、丁寧に対応します。

相談受付時間は、平日の午前8時30分～午後5時15分。これ以外の時間帯は、メールでご相談ください。

【相談窓口】 皆野町認知症ケア（もの忘れ）相談室

住 所 〒369-1623 皆野町大字大淵103番地1 長生荘内

電 話 0494-63-1122

メール hokatsu@town.minano.saitama.jp

みんなのみんなの

安心して下さい！ぼくたち、わたしたちが優しく声をかけます！

皆野小学校で認知症サポーター講座を開催

毎年、皆野小学校6年生のみなさんに認知症サポーター養成講座を受講していただいています。子どものうちから正しい知識をもち、日頃から認知症について考えることは、「みんなに優しいみんなの」にとって、とても大切なことです。子どもたちは、認知症疾患医療センター職員であり、キャラバンメイトの内海巨史さんの講義を、熱心に聞きメモをとっていました。グループワークでは、認知症役と聞き役に分かれ、言葉では伝えられないもどかしさを体験したり、具体的に認知症をイメージできる貴重な授業になりました。



今日から、認知症サポーター！

※キャラバンメイト…都道府県や市町村が実施する「キャラバンメイト養成研修」を受講した認知症サポーター養成の講師

つどいの掲示版

認知症予防のつどい

つむぐ会

以前作った作品もお披露目に来てください。

何を作っても大丈夫。オリジナル大歓迎♪自由に参加してください。

日 時：第2、第4木曜日

10時から11時30分

場 所：長生荘 集会室

対象者：認知症予防に興味・関心のあるかた

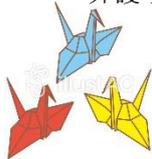
内 容：編み物・小物づくり・塗り絵など

参加費：100円



問い合わせ 地域包括支援センター 電話 63-1122

介護する方の体と心の健康のために



介護者のつどい

経験者同士、いろいろな話をしながらリフレッシュしませんか。

日 時：3月23日（月）

10時00分～11時30分

場 所：総合センター

対象者：介護をしているかた

内 容：折り紙で手を動かしながら日頃の思いを話しましょう

参加費：無料



問い合わせ 地域包括支援センター 電話 63-1122

下大浜地区の寄り合い集まり会

「いってんべえ～、あつまんべえ～」特別企画

日 時：3月15日（日） 午前10時30分から12時まで

場 所：大浜ケアセンター

内 容：空き家予防のために『相続おしかけ講座』

～将来、家族に負担をかけないために『相続ココだけの話』～
相続や認知症への“備え”について、専門家が分かりやすく説明してくれる講座です。

問い合わせ 大浜ケアセンター 野巻 電話 63-1550

地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者等のみなさんが住み慣れたところで、安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。介護保険サービスの利用方法、介護予防、認知症相談、福祉相談、虐待・消費者相談、成年後見相談、ほか生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。気軽にお電話・ご来所ください。

福祉介護よろず相談室

通称名をリニューアル

皆野町地域包括支援センター

皆野高校や国神小学校の下にある「長生荘」という平屋の建物の中ですよ。

電 話 63-1122

【編集後記】

暖冬。泣き笑い。柔らかく降り注ぐ、春の陽光。日頃、関節や筋肉の痛みに悩んでいる方には、ありがたい陽気でした。氷の張る朝は、数えるくらいでした。そう言えば、私がこどもの頃（そこそこ昔ですが・・・）、赤平川が凍って、近所の友達とスケートを楽しんだことを思い出します。氷が薄い所に行って、川に落ちて「ひゃっけえ。」なんて、大笑いしたものです。

一方、雪が降らないと夏の水不足が心配です。今から、大事に水を使いましょう。水が不足すると、農業や工業にも大きな影響を与え、私たちの生活にも支障がでます。蛇口をひねると水が出る、なんて幸せなことでしょう。

今年度、当センターの相談受付延べ件数は、設置以来、初めて1000件を超える見込みです。きれいな水を供給してくれる水道屋さんにならいい、さりげなく、各福祉介護サービスが必要な、みなさまへ届くように頑張ります。これからも、身近に寄り添いますのでご協力ください。

所長（主任介護支援専門員） 新井 康弘